

- ① FD講演会 -社会を生き抜き、働き続けるために-
- ② これからの大学の使命と役割 -大学コンソーシアムひょうご神戸-
- ③ ワークショップで学生が変わる!! -マネジメント創造学部取組み-
- ④ 自己満足な授業じゃダメ?! -もっと工夫しよう-

FD講演会

1 NEWS 社会を生き抜き、働き続けるために

変化の激しい現代社会で求められる人材のキーワードは、コミュニケーション能力です。その力を身につけるために大学はまず、専門教育をきちんと教育し、学生の学習履歴を濃密なものにし、社会とのつながりを自覚させることが重要です。さらに、偶然の



出来事に対して客観的に考え、対処する適応力を備えた人材が、明日の世界を切り開きます。

EBA高等教育研究所
教授 渡邊 和俊

講演日 2010年7月30日(金)

講演者

モロゾフ株式会社能力開発担当課長
中西 泰輔 氏

兵庫県立伊丹高等学校長
稲垣 明氏



これからの大学教育は、専門教育と社会とのつながりを教えることが重要。

偶然の出来事に対処する力がこそ重要。

教員自身が“伸びる人間”でなければ、学生は伸びない。

2 NEWS これからの大学の使命と役割

～大学コンソーシアムひょうご神戸 第5回FD・SDセミナー～

開催日 2010年9月17日(金)

開催場所 神戸学院大学

ポートアイランドキャンパス

基調 認証評価の新段階

講演 -内部質保証システムをいかに機能させるか-

講演者 工藤 潤氏

(財団法人大学基準協会 大学・評価研究部 部長)

大学基準協会の設定した新大学評価システムの概要について説明がありました。

甲南大学は、この新システムに則って2012年に自己点検・評価報告書を作成し、翌年、大学基準協会の認証評価を受けます。

参加者の一言ポイント!

分科会1

大学教育の分野別質保証に向けて

学問分野固有の知識や理解を活用した「~できる能力」の共通性を明確にし、大学の教育改革を支援する取組みが日本学術会議で進められています。

大学企画室 次長 美馬久美子

分科会2

不況下のキャリア形成支援

本分科会では、今日の厳しい不況下でのキャリア形成支援のあり方について、大学教育と就職支援の立場からの現状認識を踏まえつつ、議論を深めました。

経済学部 教授 永廣 顕

分科会3

FD・SDを積極的に推進するための手法と事例

FD・SDの先進大学である愛媛大学の担当部局の教員が、母校での経験等を引用してFD・SDの進め方、先進的な試みについて刺激的な講演をされました。

大学企画室 室長
法科大学院 教授 石井 昇

甲南大学は、“新大学評価システム”に則って2013年認証評価を受けます。
よろしく願います!

3 NEWS

ワークショップで学生が変わる!!

●●●マネジメント創造学部の取組み●●●



マネジメント創造学部では、日常的に授業の中にワークショップを取り入れています。それは、一方的な講義型の授業よりも学生自身が参加をすることで、授業に対してより積極的な姿勢になり、理解を深めることができるからです。また、学生を巻き込んでいく「力」があるということもみなさんにも感じてもらいたい思いから、今回これらのワークショップ方法をご紹介します。

マネジメント創造学部
教授 ジョーンズ・ブレント

ワークショップ風景 (様子) ▶

Aligning our learning objectives, instructional strategies and assessment

The purpose of this workshop was to get teachers to think and talk about how to align our various classroom endeavors, specifically the learning objectives we determine for our learners, the instructional strategies we use to help learners toward those objectives, and the assessment protocol we use for measuring success in attaining those objectives. The workshop proceeding as follows:

- (1) First, in groups of 4 or 5, participants were asked to match a set of 15 plus cards with individual teaching strategies (e.g. demonstration, group discussion, lecture, case study, role play) with another set of cards with definitions for those strategies.
- (2) After groups finished this task, they were asked to discuss and collectively choose the 3 most effective and 3 least effective strategies. Then, a representative from each group was asked to explain their group's decisions.
- (3) Next, a debriefing session was held to explain that the purpose of this activity was to remind teachers that they have a long list of possible teaching strategies to rely on in the classroom and that we need to match these strategies to the learning objectives as well as how we assess our learners. This activity also aimed to show one example of a workshop that teachers can use with their own students.
- (4) Finally, participants were given a list of teaching strategies and other handouts and references related to aligning learning objectives, teaching strategies and assessment protocols.



4 NEWS

自己満足な授業じゃダメ?! ーもっと工夫しよう!ー

- 開催名: 京都FDセミナー
“授業技術を考えるー多人数授業の工夫ー”
- 開催日: 2010年7月31日(土)
- 開催場所: 大谷大学



学外セミナーに行ってきました!

主催者の予想を上回る参加者があり、FDに対する各大学の関心の高さがうかがえました。

講演1は、講義における板書の工夫、レポート課題の設定などについて講師自身の工夫とそのベースになる心理学について紹介されました。また、講演2は携帯電話を利用した講義例が紹介されました。ツイッターと同様のシステムを用いて、課題に対する答えや自分の意見を送信し、その意見は教室のプロジェクター画面上ですぐに見ることができます。より多くの意見を共有する方法の一つです。

大学の役割として学生教育の比重が重くなっていますが、大学教員には教育理論や授業技術を体系的に知る機会が保障されているとは言い難いです。今回のセミナーのような具体的な実践例を聞ける機会は大いに利用すべきではないでしょうか。

スポーツ・健康科学教育研究センター
准教授 水澤 克子

これらの詳細については

甲南大学HP

研究所・センター

FD

FDニュース



更に詳しい情報・報告はホームページへ!

2010年度 甲南大学 FD委員会 委員

鶴身 潔	副学長(委員長)
石井 昇	大学企画室長
菅 康弘	教務部長
井野瀬久美恵	広域副専攻センター所長
福島 彰利	教職教育センター所長
川田都樹子	文学部・人文科学研究科
小堀 裕己	理工学部
永廣 顕	経済学部・社会科学研究所経済学専攻
池田 佳隆	法学部
林 満男	経営学部・社会科学研究所経営学専攻
小出 武	知能情報学部
ジョーンズブレント	マネジメント創造学部
松井 淳	フロンティアサイエンス学部・ フロンティアサイエンス研究所
町田 信也	自然科学研究所
藤原三枝子	国際言語文化センター
水澤 克子	スポーツ・健康科学教育研究センター
渡邊 和俊	EBA 高等教育研究所
鳩貝 耕一	情報教育研究センター
小舟 賢	法科大学院
齊野 純子	会計大学院
松本 吉弘	教務部の専任職員管理職
美馬久美子	大学企画室の専任職員管理職

(2010.6.1現在)

FDニュースへのご意見、ご感想はこちら
大学企画室
TEL 078-435-2663(内線2810)
FAX 078-435-2306
MAIL kikaku@adm.konan-u.ac.jp

☺ 次回は3月発行予定です。お楽しみに!!